



禮海句集
夏

5
4401
2



門へ 5
號 4401
巻 2



夏之部

少水北北もほらよきあな
中とらぬ少ら北らあ
ねらせの世界とありしうか
まよひ乃きよわあ武う
またらひらあしあ

昭和九年
九月二日
晴末

かゝるいふ人にておと昔
おと後世にふたつあり

林のうしろにふたつあり
やういふ人にておと昔
おと後世にふたつあり
おと後世にふたつあり
おと後世にふたつあり
おと後世にふたつあり

おと後世にふたつあり
おと後世にふたつあり
おと後世にふたつあり
おと後世にふたつあり
おと後世にふたつあり
おと後世にふたつあり
おと後世にふたつあり
おと後世にふたつあり
おと後世にふたつあり
おと後世にふたつあり

人のり東ちひさしくあはれ
反ちぬぬのゆかりのふり
系子のあはれ梅系入のあし
かたしなふりなふりあはれ
日れあはれあはれあはれ
あはれあはれあはれあはれ
あはれあはれあはれあはれ
あはれあはれあはれあはれ
あはれあはれあはれあはれ

杜のあはれあはれあはれ
あはれあはれあはれあはれ
あはれあはれあはれあはれ
あはれあはれあはれあはれ
あはれあはれあはれあはれ
あはれあはれあはれあはれ
あはれあはれあはれあはれ
あはれあはれあはれあはれ
あはれあはれあはれあはれ
あはれあはれあはれあはれ
あはれあはれあはれあはれ
あはれあはれあはれあはれ

たつしんまはるのこまをかきしん
糸乃あまの桶もよすねたる
およもももしんらんのこまか
も跳乃まのけりあ子のも
もももももははははははは
隊乃あまのいさるあ子のこま
けしねまのり水のたよあ
あまのこまもあまのこま

うらまのまにらたのやのも
強にうまのこまのあ子のも

世をたのたのこまのあ子のも
はのまのあまのこまのあ子のも

そらまのたのこまのあ子のも
たのたのこまのあ子のも

山崎大熊のこま

一白のこまのあまのこま

香もたおとらふ付くひのわうたか
あまにひらくくありたふあま
と神香入つらふもとる。お樹が
ゆに細らふもとるえぬお樹が
この目乃ちよととるや。お樹が
ゆの香にさる。神垣乃お樹が
きららふしきれぬつらふお樹が
大井あま人の水きららわうた

香もたおとらふ付くひ

あまの香もたおとらふ付くひ
らひはまらふしきれぬつらふ
あまの香もたおとらふ付くひ
あまの香もたおとらふ付くひ
あまの香もたおとらふ付くひ
あまの香もたおとらふ付くひ
あまの香もたおとらふ付くひ
あまの香もたおとらふ付くひ

あはれなるかたのこころをいふ
ははれなるかたのこころをいふ
ははれなるかたのこころをいふ
ははれなるかたのこころをいふ
ははれなるかたのこころをいふ
ははれなるかたのこころをいふ
ははれなるかたのこころをいふ
ははれなるかたのこころをいふ
ははれなるかたのこころをいふ
ははれなるかたのこころをいふ

あはれなるかたのこころをいふ
ははれなるかたのこころをいふ
ははれなるかたのこころをいふ
ははれなるかたのこころをいふ
ははれなるかたのこころをいふ
ははれなるかたのこころをいふ
ははれなるかたのこころをいふ
ははれなるかたのこころをいふ
ははれなるかたのこころをいふ
ははれなるかたのこころをいふ

いふことと先づらふて相も
いふことと先づらふて相も
いふことと先づらふて相も
いふことと先づらふて相も
いふことと先づらふて相も
いふことと先づらふて相も
いふことと先づらふて相も
いふことと先づらふて相も
いふことと先づらふて相も
いふことと先づらふて相も

いふことと先づらふて相も
いふことと先づらふて相も
いふことと先づらふて相も
いふことと先づらふて相も
いふことと先づらふて相も
いふことと先づらふて相も
いふことと先づらふて相も
いふことと先づらふて相も
いふことと先づらふて相も
いふことと先づらふて相も

お母やぶらけ銀をのこるに
せむらふまのたにをひき
清成やゆめれをわの蜂入を
きこあしをたのちてまの
しむい入木をゆめをわめ
なさるるや世にりや世の
のひもあしをひきまの

の本をたのこるお孫を後

やうあしをひきまの
ふねをよるまの
まの月あしをひきまの
わの戸に向くまの
お孫をひきまの
まの月あしをひきまの
まの月あしをひきまの
まの月あしをひきまの

海老のしほしほとてしらぬ梅の本
はしほしほとてしらぬ梅の本
はしほしほとてしらぬ梅の本

大は梅林

梅さしとてしらぬ梅の本
はしほしほとてしらぬ梅の本
はしほしほとてしらぬ梅の本

梅さしとてしらぬ梅の本
はしほしほとてしらぬ梅の本
はしほしほとてしらぬ梅の本

本はとも入りしこころの
雪ももてるをいふは
ちしあ種乃ちらら
いよに居るか
にもしも木のあつる
幸崎に

春崎ちあくも
先は乃十七
とさう一枝の
して一短の
み子の
先は二十
あつても
なこ
め

春崎に
とさう一枝の
して一短の
み子の
先は二十
あつても
なこ
め

